

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
220021	X-31-B-1-220021	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報とコンピューティング	宮北 和之			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
ICTの急激な発展・普及に伴い、ICTを活用して様々な情報が扱えるようになった。このような背景から、経済活動や情報発信はもとより、日常生活においてもICTが利用されている。したがって、ICT関連の知識を習得することの重要性が増している。本講義の目的は、ICT社会を生きぬくために必須となるICTの基礎的知識を修得することにある。そこで、コンピュータの基本構成から情報社会におけるコンピュータの活用事例までを概括し、ICT全般に関する基礎的知識を学修する。特に、IPAの実施する基本情報技術者試験の試験範囲も学修範囲とする。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 コンピュータとは 【前・後】 復習に4時間。事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第9回 【授】 コンピュータネットワーク 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第2回 【授】 デジタルとアナログ 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第10回 【授】 インターネット 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第3回 【授】 情報理論 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第11回 【授】 セキュリティ 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第4回 【授】 論理回路 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第12回 【授】 データベース 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第5回 【授】 コンピュータアーキテクチャ 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第13回 【授】 サービスマネージメント 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第6回 【授】 オペレーティングシステム 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点などを調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第14回 【授】 情報通信システムの法制度と標準化 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第7回 【授】 ソフトウェア開発とプログラミング 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第15回 【授】 情報サービスの発展 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。			
第8回 【授】 アルゴリズムとデータ構造 【前・後】 予習・復習に4時間。事後学習・事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。				第16回 【授】 期末試験			
成績評価方法							
期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し、全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%）で評価する。課題の解法および参考解答を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲載する。							
教科書・参考書							
白鳥則朗, "コンピュータ概論 (未来へつなぐデジタルシリーズ (17))", ISBN 978-4-320-12317-5, 共立出版 (2013.1). 参考書・参考文献は、講義中に紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
教科書を精読し、分からない用語を整理すること。毎回の講義で課すレポートの全問に解答すること。そのままでは理解できない。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
学習到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ社会で生きぬくために必須となるコンピュータ技術の基礎的知識を習得できる。（期末試験とレポート 50%） ・コンピュータの基本構成から情報社会におけるコンピュータの活用事例を習得できる。（期末試験とレポート 25%） ・ICT全般に関する基礎的知識を習得できる。（期末試験とレポート 25%） 							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習